

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年10月31日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492700038		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホーム ほのぼの苑 廿日市東		
所在地	広島県廿日市市桜尾本町3番21号 (電話) 0829-34-3800		
自己評価作成日	令和3年8月18日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492700038-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492700038-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年10月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

現在コロナ禍のためご家族様との面会、外出を控えて頂いています。当苑ではリモート面会、電話などでご家族様と繋がって頂いております。長引く自粛、ADLや体調に応じて階段歩行やスクワット等を取り入れ体力維持を行っています。また近隣への散歩で近所の皆さんと挨拶を交わし社会性も保って頂くようにしております。いつも笑顔で苑生活を継続して頂くように努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

栄養バランスの整った手作りの食事提供に努め利用者・職員と共に育てた家庭菜園の旬の野菜が食卓を彩るなど、目にも美味しい食事を楽しんでいる。毎月利用者と一緒に自主防災訓練を行い、火元発生場所の想定を様々に変えて対応確認をしている。大雨災害など時間経過により変化する状況に迅速な対応が取れるよう、地域ぐるみでの災害対策に取り組んでいる。家族との面会規制がある中でも和やかに過ごす利用者の様子を手紙や電話で伝えるなど、更なるケアの質の向上に向けスタッフ全員でスキルアップに努め、その人らしさのある穏やかな暮らしを守る事業所づくりを継続している。

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	苑の「理念」と「スタッフの改善」を毎朝の申し送りで唱和し職員全員に周知徹底を図り「理念」と「スタッフ改善」に添ったサービスが出来るように努めている。スタッフ会議で話し合い、利用者への対応の改善についての心構え、申し送り時に唱和し改善しているものもある。	事務所理念と共に、職員の心得としての『スタッフの改善』を毎朝の申し送り時に職員で唱和し意識を高めている。それらについて定期的に振り返りを行い、職員のモチベーション維持につなげ日々の実践に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、利用者様と近隣へ散歩の時や職員の出勤時には挨拶を交わし顔なじみの関係づくりを作っている。	長年培った地域との絆を大切に日頃からの挨拶や町内清掃で近所の人達と自然な形で関わっている。介護予防に関することや利用者のレベルに合わせた集いなどが開催されるようになれば今後参加し交流を深めていく姿勢がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設見学会を年に数回開催しているが、現在コロナ禍の為開催していない。高齢者施設に関する質問や相談には電話等で対応している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	市、町内会、民生委員、ご家族様に参加して頂き、現状報告を行っている。また毎回講師の先生を招き、栄養指導・防災・認知症予防等について研修して頂いている。研修の内容は、朝礼時やスタッフ会議にて伝達しサービス向上に繋げている。	現状下では当会議を書面にて実施し、家族・民生委員・町内会長・市の高齢介護課職員他の少人数ではあるが、状況説明や報告及び意見交換を行い運営に活かしている。インシデントについても、その後の経過を議事録に記載し、今後の対策に繋げている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	介護保険に関する情報を市からメールを頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換するなど、連携を図っている。また、月一回、介護相談員に来苑頂き、利用者の声を行政に届けている。	市の担当窓口疑問点を問い合わせたり、普段から地域包括支援センター職員と連絡を密に取り、報告や情報交換などで連携し協力関係を構築している。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修会を定期的開催し、職員全員に身体拘束の危険性を理解して拘束をしないケアに努めている。	定期的な職員研修や適正化についての検討を重ねている。スピーチロックを含めた身体拘束をしないケアを実践し、投薬の軽減などにも留意し利用者の心身の安全を守る支援に取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し自分自身のケアを見つめなおしている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	マニュアルを用意し、スタッフ会議などで職員に周知徹底するように心掛けている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は施設長、計画作成担当者、利用者側2名で十分時間をとり分かりやすく説明を行う事を心かけている。又契約解除や料金改定の際にはご家族の理解、納得をして頂くまで話しあいを行っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時にはご家族様から意向、要望が出やすい雰囲気作りに努め、利用者様について報告や相談を行っている。ご家族様と良好な関係性の構築に努めている。	家族などの面会規制がある中で、電話や手紙で日々の様子を知らせ、苑内行事の写真をほのぼの通信に載せて利用者が和やかに過ごす姿を伝えコミュニケーションを図っている。家族との信頼関係を築く事がより良いケアにつながる一番の方策と捉え細やかな対応を心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回定期的に開くスタッフ会議には必ず代表取締役の出席仰ぎ、職員からの意見や提案に耳を傾ける機会を設けている。	毎月のスタッフ会議で法人代表者同席の下、意見交換し業務改善を重ねている。毎月の本社介護会議では系列事業所の管理者が集まり報告や相談など忌憚のない意見交換を行っている。今後、地域ケア会議のような横のつながりが持てるネットワークを更に広げたいと考えている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人の勤務希望を配慮し、労働しやすい条件を組んでいる。代表者は賞与などに日頃の努力実績を反映させ職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員に必要な研修を受講できるよう配慮している。受講後スタッフ会議で全職員に伝達している。介護職以外の職員に介護の資格取得の研修の機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に來られ情報交換することもある。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前又は入居時にご本人と面談を行い不安や要望等があった際には納得して頂くまで傾聴し安心して生活して頂ける関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	不安なく入居して頂けるように面談やご家族様と電話で話を伺う機会をこまめにとり、信頼関係を構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人の「ADL」や「思い」ご家族の要望を正確に把握し、総合的な支援を考えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で食事の片づけ、洗濯干し、たたみ等利用者が出来る事は積極的に声かけ、一緒に行い家庭的な雰囲気作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日常生活をこまめにお伝えし、ご家族の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	これまでの人間関係やご近所付き合いを把握し、散歩コースには利用者様の馴染みの場所を選び懐かしく思い出されるように支援している。	外部とのふれあいが持てない現状で、少しでも懐かしめる話題を盛り込むなど職員と共に憩いの時間を設けている。3ヶ月に1回の訪問理美容ではお化粧も楽しみ、日々の散歩時にも馴染みの風景と共にエピソードを交えながら近所との関係性やつながりを大切にしている。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲良くなられた利用者様同士でお互いに声を掛け合ったり協力し合える関係が見られ職員はそっと見守るような支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるように努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの関わりの中で望んでおられる思いや意向は申し送り等で話し合い職員共有に努めケアプランに取り入れ、その人らしい暮らしを過ごせるように努めている。意思の把握が困難な場合は本人の表情、ご家族様に伺っている。	日常生活の中でのさり気ない会話や仕草・表情などから思いを汲み取り個別記録に記しスタッフ間で共有している。本人のやりたいこと・出来ることを把握しケアプランに組み込み、意欲のわく日々であるようバックアップしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式B-3私の暮らし方やC-1私の気持ち等を活用したりご家族から生活歴等をお聞きし、入居前の暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様一人一人の身体、生活状況の変化を介護記録に残し職員間で話し合い現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人の日々の変化を見逃さずご本人、ご家族の意向、介護職員、看護師等の意見等の意見を汲み入れ本人に即した個別性のあるケアプランになる様に作成している。定期的にモニタリングを行い実施状況を確認している。</p>	<p>必要時に各関係者と共にカンファレンスを行い、短期目標に実施された内容確認や気付きを加え本人・家族の意向に沿ったプラン作りに取り組んでいる。定期的に見直しを行い次回作成時に活かしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の経過記録を日々記入し、職員間で確認している。「ケアプラン実施表」に介護職員が気づきを記入する事で情報の共有化や介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常にご本人の思いに耳を傾け、状況に応じてサービスの活用に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じて頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に苑の協力医の説明を行うと同時に本人様の馴染みのかかりつけ医を設定されることも自由である旨を説明している。協力医の訪問診療他必要時、緊急時は常にかかりつけ医と連絡とれる体制が出来ている。</p>	<p>協力医の訪問診療がある。看護師との医療連携をはじめ定期的な訪問歯科による口腔ケアなど、適切な医療を受けられるシステムがある。利用者及び職員の感染症対策を徹底し安心出来る暮らしを提供している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から細かい変化を見逃さずいつもと違った変化があれば、すぐに看護師に相談し緊急度合いによっては、受診や往診を依頼している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関にホームの生活・ケア等の情報提供を行い、安心して治療が行えるように整えている。また入院中病院を訪問したり医療連携室の担当者から電話にて連絡を行い本人のADL、体調面の情報を得ている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期における対応に関する指針を説明するとともに、その時を迎えた場合ご家族・かかりつけ医・苑が十分に話し合いを持ち、施設としての対応を十分納得して頂くまで行っている。ご利用者様の状態を常に報告し再度意思確認を行う。	看取りの経験もあり、最期までその人らしく過ごせるようにチームアプローチで取り組んでいる。重度化した場合、その都度家族や医療関係者と方向性をよく話し合い、スタッフ全員で心のこもった穏やかな終末期ケアに努めている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に対応できるようにスタッフ会議で勉強会を行い慌てずに実践できるように努めている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月1回日中及び夜間の避難訓練を利用者様と共に行い夜間での訓練は夜勤者全員が行うようにしている。また11月は防災月間として水消火器による消火訓練も行っている。災害対策については3日分の食料の備蓄、簡易トイレ等を備えている。またダウンジャケットも用意している。	火元発生想定場所を様々変えながら毎月自主避難訓練を利用者と共に行い、夜間訓練では夜勤者全員で行なっている。最近の大雨災害の教訓から、時間経過により生じる問題の変化に迅速に対応できるよう地域ぐるみでの災害対策に努めている。普段からレスキューフーズを備蓄するなど災害への備えを強化している。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の個々の人格を尊重しつつ適度な方言、親しみ感を持った声かけに努めている。トイレの声かけ等は声をおさえた配慮を心がけている。毎日申し送りでもスタッフの改善の言葉を唱和している。	『スタッフの改善』内の『丁寧な言葉遣い・同じことを繰り返しても初めてのように丁寧に伺う』等を職員間で常に意識している。声のトーンや声掛けのタイミングに配慮し自尊心を傷つけないケアに留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる入浴時や散歩時にはくつろいだ気持ちで自然な思いを語って頂ける事が多く、出来るだけその思いを具体化出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的に利用者様の生活リズムに合わせて、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時にはご自分の好みの衣服を選んで頂いたり、2ヶ月に1回訪問理美容でカットされる時、どのような髪型を希望されるかをお聞きして希望の髪型にされ、いつも綺麗にいて頂くように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	3食すべて職員の手作りの食事は見た目も食欲をそそる様に色合い良く、また温かい物は温かく冷たい物は冷たく召し上がって頂いている。利用者様には食後のお盆ふき、テーブル拭き等を手伝って頂いている。	栄養バランスの取れた3食手作りの食事提供で旬の野菜や彩りにも配慮し、食欲をそそる工夫をしている。介助が必要な利用者もなるべく自力で口に運ぶ工夫をしたり、誕生会にはデコレーションした手作りケーキや好きな物を味わい共に祝う楽しみもある。	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。また必要な方には訪問歯科医による治療、また入居者様全員定期的に口腔ケアも行なっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表に記録することで個々のリズムを把握し、トイレでの排泄を促している。また、利用者様の尿量に応じた適切なパッドを模索しご家族に提案し使用している。</p>	<p>排泄パターンやタイミングを見計らいトイレ誘導している。下肢筋力の低下を防ぐため廊下の歩行や階段上り・軽いスクワットを行い、こまめな水分補給で日々気持ち良く排泄できるよう支援している。個々に合わせた適切なパッド対応にも努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事の中で繊維質や乳酸菌を多く取り入れるように心掛けている。また、適度な運動を働きかけながら自力排便できるように支援している。必要に応じて医師に相談して薬でコントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご希望の時間帯に入浴できる配分はできないが、日を変える工夫は行っている。入浴時に気分が乗らず、お断りされる利用者様には世間話からはじまりお好きな話で上機嫌になって頂くように工夫している。</p>	<p>概ね週に2回午後からの入浴としている。入浴を嫌がる利用者には得意だったという仕事の再現で風呂場に誘導する工夫や、職員との会話でリラックスしながら入浴できるよう支援している。体調に合わせてシャワー浴や清拭で清潔を保っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>ご本人の生活習慣を継続した睡眠時間に合わせている。夜間眠れない時は無理強いせず、ペースにあわせた支援を心掛けている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>利用者様が内服されている薬は個々のファイルに保管され、副作用、用法などを職員が確認できるようにして、副作用の早期発見に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>1日の楽しみ、役割を持ち、張りのある生活を送って頂くことを心掛けている。散歩や3階の花壇等で気分転換をはかっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日にはADL、体調に応じた距離で散歩に出かけ草花を通じて季節を感じて頂き気分転換も心掛けている。お墓参りはご家族様の協力を得ている。</p>	<p>それぞれの生活リズムや体調に合わせてなるべく外気に触れる機会を設けている。普段の散歩やベランダの花壇の手入れなど、職員と一緒に楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的に金銭管理は苑で行っている。必要時には使えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 1階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>遠方のご家族様よりプレゼント、母の日の贈り物が届いた時、ご本人より電話でお礼の言葉、お話をされるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングの正面には掛時計があり「今何時かね」とご自分で時計を読み取り、「そろそろ○○ね」と一日の流れを把握されている。皆様で作成された季節の飾りつけも利用者様の目につくよう工夫している。</p>	<p>季節の移り変わりや時間の感覚を把握できるように共用スペース作りを心掛け、程よい距離間を保ちながらパズルやぬり絵などを楽しんでいる。洗濯物たたみを手伝いながら歌を口ずさむ和やかな光景もある。適温・適湿で快適に過ごせる温かみのあるリビングとなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>静かに過ごされてい時は無理強いせず、ご本人の意向に添った支援に努めている。気の合う利用者様同士が楽しく会話出来る座席にも配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自室のチェストの上にはご家族の写真やアルバム、ご家族様よりプレゼントされたプリザードフラワー、入居前に興味で作られた木彫りなどを持って来られ飾られている。入居後はご自分の作品ぬり絵なども飾っておられる。</p>	<p>居室には個性を活かした飾り付けを施し使い慣れた調度品や趣味の品々に囲まれ、シンプルな設えの中でも家族写真を飾り以前からの生活に近づけた雰囲気でも落ち着いた過ごせるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>リビングや廊下はお一人お一人の身体状況により、ご自分の力で動き、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。入浴時にはシャワーキャリーを使用し安全な入浴が出来るように工夫している。</p>		

V アウトカム項目( 1 階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	苑の「理念」と「スタッフの改善」を毎朝の申し送りで唱和し職員全員に周知徹底を図り「理念」と「スタッフ改善」に添ったサービスが出来るように努めている。スタッフ会議で話し合い、利用者への対応の改善についての心構え、申し送り時に唱和し改善しているものもある。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入しており、利用者様と近隣へ散歩の時や職員の出勤時には挨拶を交わし顔なじみの関係づくりを作っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	施設見学会を年に数回開催しているが、現在コロナ禍の為開催していない。高齢者施設に関する質問や相談には電話等で対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	市、町内会、民生委員、ご家族様に参加して頂き、現状報告を行っている。また毎回講師の先生を招き、栄養指導・防災・認知症予防等について研修して頂いている。研修の内容は、朝礼時やスタッフ会議にて伝達しサービス向上に繋げている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険に関する情報を市からメールを頂いたり、地域包括支援センターと入居の件で情報交換するなど、連携を図っている。また、月一回、介護相談員に来苑頂き、利用者の声を行政に届けている。		

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修会を定期的を開催し、職員全員に身体拘束の危険性を理解して拘束をしないケアに努めている。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。また、定期的に虐待チェックシートを記入し自分自身のケアを見つめなおしている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	マニュアルを用意し、スタッフ会議などで職員に周知徹底するように心掛けている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は施設長、計画作成担当者、利用者側2名で十分時間をとり分かりやすく説明を行う事を心かけている。又契約解除や料金改定の際にはご家族の理解、納得をして頂くまで話しあいを行っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時にはご家族様から意向、要望が出やすい雰囲気作りに努め、利用者様について報告や相談を行っている。ご家族様と良好な関係性を構築に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回定期的に開くスタッフ会議には必ず代表取締役の出席仰ぎ、職員からの意見や提案に耳を傾ける機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人の勤務希望を配慮し、労働しやすい条件を組んでいる。代表者は賞与などに日頃の努力実績を繁栄させ職員の向上心を上昇させるべく整えている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員に必要な研修を受講できるよう配慮している。受講後スタッフ会議で全職員に伝達している。介護職以外の職員に介護の資格取得の研修の機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	施設見学の際には各事業所に案内を郵送し、他事業所からもお知らせが郵送されてきます。他事業所の方が見学に來られ情報交換することもある。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前又は入居時にご本人と面談を行い不安や要望等があった際には納得して頂くまで傾聴し安心して生活して頂ける関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>不安なく入居して頂けるように面談やご家族様と電話で話を伺う機会をこまめにとり、信頼関係を構築に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の「ADL」や「思い」ご家族の要望を正確に把握し、総合的な支援を考えるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の生活の中で食事の片づけ、洗濯干し、たたみ等利用者が出来る事は積極的に声かけ、一緒に行い家庭的な雰囲気作りに努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日常生活をこまめにお伝えし、ご家族の思いや意見もお聴きしながら、同じ様な思いで支援する事を心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>これまでの人間関係やご近所付き合いを把握し、散歩コースには利用者様の馴染みの場所を選び懐かしく思い出されるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲良くなられた利用者様同士でお互いに声を掛け合ったり協力し合える関係が見られ職員はそっと見守るような支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるように努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の暮らしの関わりの中で望んでおられる思いや意向は申し送り等で話し合い職員共有に努めケアプランに取り入れ、その人らしい暮らしを過ごせるように努めている。意思の把握が困難な場合は本人の表情、ご家族様に伺っている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式B-3私の暮らし方やC-1私の気持ち等を活用したりご家族から生活歴等をお聞きし、入居前の暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご利用者様一人一人の身体、生活状況の変化を介護記録に残し職員間で話し合い現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人の日々の変化を見逃さずご本人、ご家族の意向、介護職員、看護師等の意見等の意見を汲み入れ本人に即した個別性のあるケアプランになる様に作成している。定期的にモニタリングを行い実施状況を確認している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個別の経過記録を日々記入し、職員間で確認している。「ケアプラン実施表」に介護職員が気づきを記入する事で情報の共有化や介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>常にご本人の思いに耳を傾け、状況に応じてサービスの活用に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事に参加させて頂くとともに、散歩等、地域の中で楽しみを感じて頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に苑の協力医の説明を行うと同時に本人様の馴染みのかかりつけ医を設定されることも自由である旨を説明している。協力医の訪問診療他必要時、緊急時は常にかかりつけ医と連絡とれる体制が出来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から細かい変化を見逃さずいつもと違った変化があれば、すぐに看護師に相談し緊急度合いによっては、受診や往診を依頼している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関にホームの生活・ケア等の情報提供を行い、安心して治療が行えるように整えている。また入院中病院を訪問したり医療連携室の担当者から電話にて連絡を行い本人のADL、体調面の情報を得ている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期における対応に関する指針を説明するとともに、その時を迎えた場合ご家族・かかりつけ医・苑が十分に話し合いを持ち、施設としての対応を十分納得して頂くまで行っている。ご利用者の状態を常に報告し再度意思確認を行う。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故に対応できるようにスタッフ会議で勉強会を行い慌てずに実践できるように努めている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎月1回日中及び夜間の避難訓練を利用者様と共に行い夜間での訓練は夜勤者全員が行うようにしている。また11月は防災月間として水消火器による消火訓練も行っている。災害対策については3日分の食料の備蓄、簡易トイレ等を備えている。またダウンジャケットも用意している。		

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の個々の人格を尊重しつつ適度な方言、親しみ感を持った声かけに努めている。トイレの声かけ等は声をおさえた配慮を心がけている。毎日申し送りでもスタッフの改善の言葉を唱和している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員と1対1になる入浴時や散歩時にはくつろいだ気持ちで自然な思いを語って頂ける事が多く、出来るだけその思いを具体化出来るように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	基本的に利用者様の生活リズムに合わせて、起床、食事などの時間も個別対応している。外出、散歩等、出来る限り要望に応えられるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	更衣時にはご自分の好みの衣服を選んで頂いたり、2ヶ月に1回訪問理美容でカットされる時、どのような髪型を希望されるかをお聞きして希望の髪型にされ、いつも綺麗にいて頂くように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	3食すべて職員の手作りの食事は見た目も食欲をそそる様に色合い良く、また温かい物は温かく冷たい物は冷たく召し上がって頂いている。利用者様には食後のお盆ふき、テーブル拭き等を手伝って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日、食事、水分摂取量を記録し個々の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態に対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。また必要な方には訪問歯科医による治療、また入居者様全員定期的に口腔ケアも行なっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表に記録することで個々のリズムを把握し、トイレでの排泄を促している。また、利用者様の尿量に応じた適切なパットを模索しご家族に提案し使用している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事の中で繊維質や乳酸菌を多く取り入れるように心掛けている。また、適度な運動を働きかけながら自力排便できるように支援している。必要に応じて医師に相談して薬でコントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ご希望の時間帯に入浴できる配分はできないが、日を変える工夫は行っている。入浴時に気分が乗らず、お断りされる利用者様には世間話からはじまり好きな話で上機嫌になって頂くように工夫している。</p>		

自己 評価	外部 評価	項 目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>ご本人の生活習慣を継続した睡眠時間に合わせている。夜間眠れない時は無理強いせず、ペースにあわせた支援を心掛けている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>利用者様が内服されている薬は個々のファイルに保管され、副作用、用法などを職員が確認できるようにして、副作用の早期発見に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>1日の楽しみ、役割を持ち、張りのある生活を送って頂くことを心掛けている。散歩や3階の花壇等で気分転換をはかっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日にはADL、体調に応じた距離で散歩に出かけ草花を通じて季節を感じて頂き気分転換も心掛けている。お墓参りはご家族様の協力を得ている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的に金銭管理は苑で行っている。必要時には使えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 2 階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	遠方のご家族様よりプレゼント、母の日の贈り物が届いた時、ご本人より電話でお礼の言葉、お話をされるよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングの正面には掛時計があり「今何時かね」とご自分で時計を読み取り、「そろそろ〇〇ね」と一日の流れを把握されている。皆様で作成された季節の飾りつけも利用者様の目のつくよう工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	静かに過ごされている時は無理強いせず、ご本人の意向に添った支援に努めている。気の合う利用者様同士が楽しく会話出来る座席にも配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自室のチェストの上にはご家族の写真やアルバム、ご家族様よりプレゼントされたプリザードフラワー、入居前に趣味で作られた木彫りなどを持って来られ飾られている。入居後はご自分の作品ぬり絵なども飾っておられる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	リビングや廊下はお一人お一人の身体状況により、ご自分の力で動き、また危険回避できるよう、物の配置に配慮している。入浴時にはシャワーキャリーを使用し安全な入浴が出来るように工夫している。		

V アウトカム項目( 2 階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑廿日市東

作成日 令和3年12月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	現在コロナ禍で運営推進会議を中止しているが再開した場合、会議に参加して頂けるご家族様が少ない。また毎回同じご家族様になっている。	数名ずつ交代して参加して頂く。参加出来ないご家族様に現状報告をお伝えする。	参加の案内状に運営。推進会議の中での取り組み講座の案内もお伝えする。	1 年
2	12	各ユニットの業務に違いがある。	緊急時に職員一人ひとりが利用者様の個々の対応が柔軟にできる。 (前回出来ていない為再度の取り組みです)	職員のユニット移動を検討する。また業務の見直しも検討する。	1 年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。